

津波避難道路用各種工法のご提案

島国日本において、津波被害はほぼ全国共通の懸案事項です。そのため近年の東日本大震災等を経て、各地で津波被害を防ぐための避難路の整備がすすめられています。

津波避難路は、津波が到達する前に高台や裏山の避難場所まで安全かつ迅速に避難できるものでなければなりません。しかし、避難路が作られる場所は高所や狭小な場合が多く、そういった条件に適した擁壁工や柵工が必要となります。



LXウォール



求められる条件

- 高所や狭小での施工性・安全性（軽量・人力施工ができる）
- 地震に強い
- 安心感と耐久性
- 低コスト
- 簡易性（地元住民自らでも設置ができる）

■大型重機不要！ ■製品運搬容易！ ■人力施工OK！



ブロック・ノン (BLN)



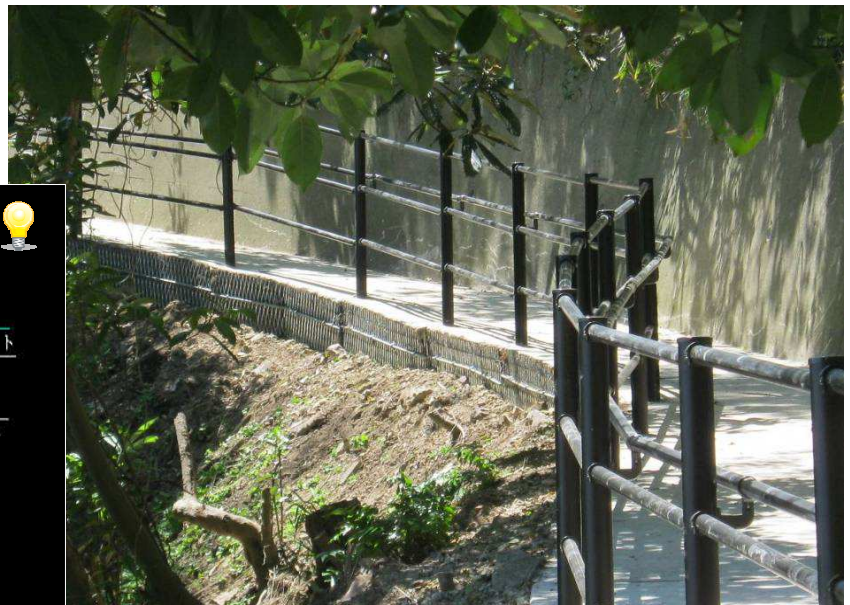
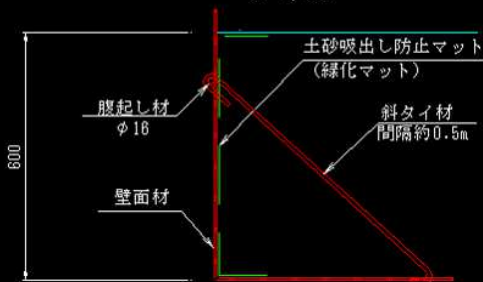
ネックス柵工 (NEX)

L型ユニット (LEX)

※法面が急な場合には、
ネックス柵工との併用も。

L型ユニット 構造詳細 

S=1/20



現場条件、擁壁高さにより、様々なプランをご提案します！